



かおり

vol.
63
November
2020



デイサービスセンターしおはま

理 念

私たちは地域の皆様の
幸福(しあわせ)に貢献できる
社会福祉法人を目指します。

品質方針

顧客満足から顧客感動へ
「やさしさ」「真心」「思いやり」で満ち
溢れた**心のかおり**のするサービスを
目指します。

今回の内容

新型コロナウイルスに負けるな!

私たちのコロナ対策

～私たちのサービスはどのように変わったか～ 02・03

ミニ福祉情報

社会福祉法人における

介護職員の離職率14.4% 04

各拠点からのお知らせ

さこ拠点(彦島迫町) 04

たのくび拠点(彦島田の首町)・しおはま拠点(彦島塩浜町) 05

ゆめタウン拠点(長府ゆめタウン)・しおかぜ拠点(彦島迫町) 06

松美会の人財

私たちが働いています! 07

自宅でできる介護食のススメ⑤ 08

特別養護老人ホームアイウの苑



特別養護老人ホーム
アイウの苑
介護主任 榎堂 由佳

Q 職員の健康管理はどうされていますか？

職員は、「出勤前に自宅で一次検温」そして、「出勤後同僚にお願いして二次検温」後に勤務に入っています。今まで高温を検出したことは有りますが、少しでも基準値に接触し怪しいとなれば、勤務に入らず躊躇なく帰ってもらっています。勤務上欠員となれば業務が大変になりますが、決められたルールを徹底することが、新型コロナウイルスの予防には必要だと考えています。

Q 施設に来苑されたお客様の体温を計ったりしていますが、入館手続きはどのようにしていますか？

来苑された皆様には、1階受付にて、検温と消毒、「入館チェックカード」による症状チェックをお願いしています。さこ拠点では来苑者も他の拠点より多いため、最近、受付前に体温検出カメラを導入しました。来苑者、職員側双方の検温の煩わしさ解消や、接触機会の除去に役立っています。



▲体温検出カメラ(左)と表示モニター(右)。来苑された方が自分で体温をチェックできるようになっています。

Q 特別養護老人ホームの面会はどのようにされていますか？

特別養護老人ホームでは、厚生労働省の指導のもと、ご家族様の面会を特別な場合(ご利用者様の様態などの悪化により施設側から面会をお願いする場合など)を除いて中止してしました。この度、厚生労働省からの面会規制も緩和されたことを受け、来苑者の限定や来苑時のルールを定め、感染対策を徹底したうえで来苑を再開できています(10月21日現在)。面会を中止していた際は、タブレットを用いたオンライン面会を行っています。オンライン面会でも様子を知ることができますが、やっぱり直接会う面会には敵わないと思います。今後も、地域の状況によっては、面会の手段が、直接会えたり、オンラインで会ったりすることが想定されます。その時その時にできる最良の手段で、面会ニーズにお応えできればと思います。



▲施設の1階ロビーと各ユニットを繋ぐオンライン面会の様子。特に難しい操作もなく、初めの接続だけ職員が行います。お互いの距離は離れていますが、画面越しに相手を思いやる言葉がその距離を感じさせません。



▲さこ拠点では、今まで来苑された方は居室まで外履きで上げましたが、現在は玄関で内履きに履き替えていただきます。



▲透明なアクリル板が全ての机に設置され、対面からの感染を予防しています。



▲大量のマイナスイオンと微弱なオゾンを生み出せる機械。さこ拠点では10年以上前から廊下、各居室に完備。



▲日常の介護・看護の記録はタブレットで。タブレットの液晶画面も多数の職員が触るので定期的にしっかり消毒します。

しおかぜの里こども園



しおかぜの里こども園
園長 泉 喜代美

Q こども園のコロナ対策を教えてください。

現在、様々な人が園舎室内に立ち入らないことを基本にしています。また、職員の健康管理はもちろん、毎朝の園児の受け入れにおいては、保護者と園児の検温を登園時行っています。園内には、複数台空気清浄機を、各クラスにはアーク霧化器を設置し、換気は時間を決め定期的に実施しています。子どもたちが触れる、机・椅子・おもちゃ・ドアノブなどの消毒は一番気をつけていることであり、特に未満児は、おもちゃを口に入れることも多いのでその都度、洗浄・消毒をしているところです。

さらには、クラスを2グループに分け、少人数での保育体制をとり、(部屋も分かれ3密対策)職員・以上児は部屋の中ではマスク着用、食事は対面を避け間隔をあけて食事をする、午睡時は頭を交互に横になり、間隔をあけ眠ってもらっています。トイレやシャワー室、事務室など園内のいたるところの消毒も気をつけているところです。行事について、可能な限りで行いたいと思っています。先日行った運動会は感染対策として、以上児はクラス別に規模を縮小して開催、未満児については残念ではありますが、今年度は中止とさせていただきます。



▲玄関では、登園降園時の伝達や健康チェックなどを行う机を設置。



▲新型コロナウイルス以外も含め感染症を発症した園児がいた場合、園外に向けた掲示板にて情報の共有を行います。



▲ご家庭にもウイルスを持ち帰らないように帰る時にも手指消毒をお願いします。



▲職員間で感染症対策機器の設置数や記録方法を共有するため、一覧を掲示。

Q ご心配になられるご家族も多いと思います。ご家族との日々の連絡手段はどのようにされていますか？

登降園時に保護者の方と園児の様子を伝達し合うのはもちろん、園だよりや、園内掲示板による情報の提供、未満児においては連絡帳を用いた日々の様子を伝達しています。コミュニケーション不足はご家族の方の不安につながることで、そうならないように普段の保育から注意していることです。

Before
コロナ

With
コロナ

After
コロナ

新型
コロナウイルス
に負けるな!



私たちのコロナ対策

～私たちのサービスはどのように変わったか～

2020年、世界で拡大を続ける新型コロナウイルス。多くの方が感染し、症状が重篤となればお亡くなりになる方もいる恐ろしいウイルスです。特に怖いのが、罹っても「無症状の方がいること」と「感染力が高いこと」だと思います。さらには、新型コロナウイルスは「高齢者が罹ると重症化する」懸念があるウイルスだということです。多くの高齢者の皆様に福祉サービスを提供している私たちにとって、新型コロナウイルスへの対策は、何よりも優先すべき重要なものとなりました。

「命に係わる新型コロナウイルスの感染者は絶対に出してはいけない」感染しないよう対策を行うことと同時に、ご利用者様、ご家族様が不安なく利用できる、働く職員が不安なく働けるメンタルケアも同じくらい大切です。

この記事を書いている時点では、新型コロナウイルスのワクチンは未完であり、世界全体で見るとまだまだ感染が拡大していることからすると、新型コロナウイルス対策は当面の間、最重要ミッションであることに変わりはありません。

Withコロナの時代。私たちはどのようにサービスを提供すべきか。今回は、在宅サービス、施設サービス、保育サービスと3つのサービスでの新型コロナウイルス対策についてご紹介します。

アイウの苑デイサービスセンターしおはま



アイウの苑
デイサービスセンターしおはま
管理者 岡田 添生

Q サービスの提供方法で変わったことはありますか？

デイサービスセンターでは、ご利用者様が対面とならないよう、食事を食べる際、体操をする際など配慮して座っていただいています。また、それに伴い今まで通りではテーブル数も足りないのでテーブルを増やしています。体操をする際は、ペアで行う体操もありましたが、現在はペアで行わない体操にプログラムを変更しています。

Q 環境整備で気をつけていることは？

窓を常時明けることによりフロア全体の空気を入れ替えたり、空間除菌脱臭機を設置し、空気の除菌を行っています。開けた窓はどなたかが閉めないよう、換気中だと分かるように貼り紙をしていますが、これからの時期寒くなるので窓を開け続けている換気も難しいと感じています。

Q 消毒する場所もこれまで以上に多くなったと思いますがいかがでしょうか？

ご利用者様が使用される物品の消毒はホントに多くなりました。車いすや、椅子、手すりはもちろん、ご家族様とのやりとりを行うお便りケース、送迎車、エレベーター内のボタンなどです。使用する消毒液の量、消毒に要する時間などが増えますが、なんとか工夫して行っています。



▲窓には換気を促す貼り紙が。



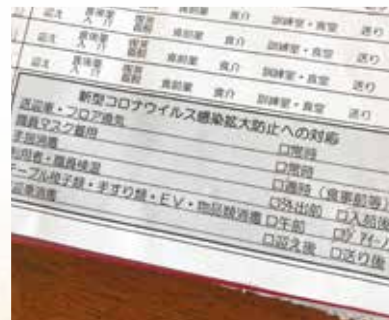
▲各事業所ではフル稼働で空間除菌・脱臭をしています。



▲タオルの代わりに軍手を使った定期的な消毒を行っています。



▲体温計、消毒液と携帯電話を専用ポーチに入れてご利用者様の送迎に。出先でもできる新型コロナ対策セットです。



▲毎日の日誌にチェック項目を追加することで、新型コロナへの対応に漏れが無いようにしています。

各拠点からのお知らせ

さこ

拠点
(彦島町)

一歩前進～ICT化に向けた取り組み～

コロナ禍でテレワークやWEB会議など働き方や生活が変わってきています。当法人は平成26年頃より、ペーパーレス化に向けて記録の電子化を進め、日々のサービス提供の記録はタブレットやパソコンを使用しています。ホームヘルプサービスは、残念ながらICT化が進んでいないのが現状です。この背景には、電子機器の取り扱いが苦手な職員が多いこと、一人1台の端末の用意とソフトが高いこと、現場で働くヘルパーの負担が大きいとの声が多かったことなどの理由があります。

この度、6年越しに大きな一歩を踏み出しました。9月より「けあピアノート」というアプリを導入し当事業所にとってICT化が有効か否かを検証しています。訪問先の確認や訪問時間、記録の一部に活用しています。6年の間に地道にメールを活用し少しずつヘルパーにスマートフォンなど電子機器に触れる機会を作りながら取り組んだ成果でもあります。何より全ヘルパーがスマートフォンを使用していることが、今回の「けあピアノート」の導入に大きな後押しとなりました。様々なヘルパー向けのアプリが開発されていますが、最もシンプルで使いやすそうであったことや現状の業務などやり方を大きく変える必要がなく、今やっていることとこれからやりたいこと双方の良いところ取りがこのアプリならできそうであったことから導入を決めました。

個人差はあるものの導入計画に沿って着実に計画通り進行しています。これから本格的にアプリを導入することで、「生産性の向上」「通信費の抑制等コスト削減」「情報共有によりサービスの質の向上」が期待できます。

まだまだ手探りの段階ですが、ヘルパー同士で教え合いながら取り組んでいます。私の予想を遙かに超えた前向きな仲間感謝するとともに、ご利用者様にどのような形で更なるサービスの質の向上に向けた取り組みができるか挑戦し続けます。また、訪問介護は、他の介護保険サービスよりICT化が遅れていると言われているようですが、当事業所独自のやり方で継続的に改善を行いながら、更にICT化を推進していきたいと思います。

アイユウの苑
ホームヘルプサービス
管理者 永田 英一



三二福祉情報

社会福祉法人における 介護職員の離職率14.4% (民間企業は17.2%)

令和2年8月7日、介護労働安定センターは、令和元年度介護労働実態調査結果を公表しました。

調査結果によりますと、介護サービスに従事する従業員の不足感(「大いに不足」+「不足」+「やや不足」)は65.3%(前年度:67.2%)であり、「適当」は34.4%(前年度:32.4%)であり、人材不足感は、昨年まで5年連続して増加していたところ、今回は若干減少したものの、依然として高い状況にあります。

法人格別にみますと、民間企業が採用率21.5%、離職率17.2%であるのに対し、社会福祉法人は、採用率16.3%、離職率14.4%となっています。(離職率は全体平均より低く抑えられていますが、採用率が低いために、人材の増加につながっていない状況となっています。)

社会福祉法人の離職率の低さは、各法人における「働きやすさややりがいの感じられる職場づくりの取組」の成果であり、他業他社との人材獲得競争に対応するためには、社会福祉法人の強みを求職者に伝える必要があります。

■法人種別による離職率

法人種別等	離職率(%)
民間企業	17.2
社会福祉法人	14.4
松美会	7.8

■介護関係の仕事を辞めた理由上位3つ

- 1 自分への将来の見込みがたなかったため
- 2 結婚・妊娠・出産・育児のため
- 3 職場の人間関係に問題があったため

松美会におきましても、「働きやすい職場づくり」のためのさまざまな取り組みを展開しており、令和元年度の職員離職率は7.8%となっています。

職場での良好な人間関係を実現し、法人理念や事業所の運営のあり方に共感してもらえるように、また、将来に向けたキャリアパスとさらなる処遇改善を、さらには女性職員の産休・育休後の職場復帰に尽力するとともに、当法人の強みをしっかりと伝えてまいります。

(詳細については、公益財団法人 介護労働安定センター

「令和元年度 介護労働実態調査結果について」

http://www.kaigo-center.or.jp/report/2020r02_chousa_01.htmlをご覧ください)

法人事務局
事務局長 辻 中 浩 司

自宅での生活を 活き活きと

各拠点から
お知らせ

たのくび

拠点
(彦島田の首町)



ご利用者様・ご家族様アンケートで声の多かった「体操」を積極的に提供するため、今年度は機能訓練指導員による日常生活動作体操とボールエクササイズという体操に力を入れています。

デイサービスはご自宅での生活を少しでも長く続けることを目的の1つとしたサービスです。日常生活動作体操では、トイレでのトイレトーパーを手取る動き、着替える時の腕を通す動き、お風呂で頭を洗う時の動きなどといった欠かすことのできない生活場面を想定した動きを行います。また、ボールエクササイズでは、自宅での生活の質を大きく左右する『歩く』ことへ『より長く歩ける』をテーマとして掲げ、適度に弾力のあるボールを使って、挟んで立つ・座って挟む・座って転がすなどの動きを行っています。

どちらの体操でも『何のためにするのか』『どこに効果があるのか』などの具体的な話を交えながら進めていますので、話に聞き入っている場面や一生懸命に体を動かされている場面があり、充実した時間となっています。

ご希望された少人数の方へは各種体操から選んだ

体操を提供する時間も設けています。全体に向けた声掛けではなく、一人ひとりへ向けたアドバイスをお伝えする体操なので、より熱心に取り組まれるお姿が見受けられます。

ご自身でできることを続けながら、少しでも長くご自宅での生活をお続けいただけるよう、これからも一人ひとりに合わせたサービスの提供に努めていきます。

デイサービスセンターしおはま
管理者 岡田 添生



各拠点から
お知らせ

しおはま

拠点
(彦島塩浜町)

感謝の気持ち

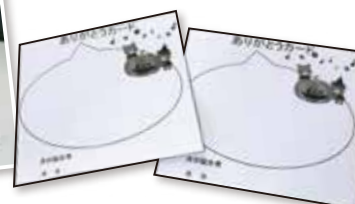
私たち施設スタッフはご利用者様のために何ができるのかを日々考えています。今年度はコロナウイルスの蔓延によりご利用者様は思うようにご家族に会えない方や、外出を控えるなど不自由な思いをされている方が多数おられます。日頃から様々なことを我慢しておられる方々です、当然ご利用者様の笑顔が減りました。今回のことで私たちが感じたことは、ご家族様の偉大さです。ご利用者様にとってご家族様の存在がどれだけ大きく大切な存在だったのか、そのことに気が付いたと同時にご家族様に対しての感謝の気持ちも込み上げてきました。私たちに今何ができるのか、そこで取り組むことにしたのが「良い取り組みメモ」「ありがとうカード」「ご家族様への手紙」です。職員の良い所が見える化



することで良いことは皆で取り組もう、職員同士日頃の感謝の気持ちをカードに込めて伝えよう、ご家族様にもご利用者様の様子を伝えと同時に日頃の感謝の気持ちも伝えたい、そんな思いから始めました。このような時だからこそやさしく、穏やかな気持ちでご利用者様を支え、「ありがとう」という感謝の気持ちを胸に、温もりと笑顔溢れるサービスを提供させていただきます。



小規模多機能型居宅介護
アイユウの苑しおはま
介護主任 中野 彰 久



コロナ禍における行事

新型コロナウイルスによって、私たちの生活様式は大きく変化しました。これまで“あたり前だったこと”に制限がかかり、何が正解なのかもわからない中で不安を抱えながら生活している方は多いと思います。私たち福祉従事者も不安はありますが、一人ひとりが責任と自覚を持ちながら毎日の生活を送っています。三密を避けた行動を意識し、手洗い・うがいの徹底、日々の体調管理に気を配りながら安心・安全なサービスを提供できるよう努めています。

ご利用者様につきましては、ご家族様との面会ができない不安や外出ができないことにストレスを感じておられる方が大勢いると思います。当苑では、このような状況であっても、日々の生活の中で少しでも季節感を感じたり、楽しみを持って過ごせる行事を提供したりすることで、ご利用者様の笑顔を引き出せるよう努めています。

具体的な内容としては、季節に合った作品作りを行っています。直近では敬老のお祝いとして担当職員がご

利用者様にメッセージを添えたお祝いボードを作成しました。敬老の日にプレゼントした際、多くの方が「ありがとう」と喜ばれていました。七夕には各フロアにて七夕作品を作りました。笹は貼り絵で作るか？飾り付けはどうするか？を考えながら作ることで、日中の生活時間にも楽しみを持っていただけたと感じています。

コロナ禍であっても、ご利用者様の声に耳を傾け、笑顔を引き出すことを忘れず、楽しみのある時間を過ごしていただける行事を提供していきたいと思っています。

地域密着型介護老人福祉施設
アイユウの苑ゆめタウン
生活相談員 河崎 亮



コロナに負けない!楽しい行事

こども園では季節ごとに楽しい行事があります。今年はコロナの影響もあり、集団での活動が困難になってしまいました。しかし、子どもたちには季節ごとの行事を体験させてあげたいのが私達職員の思いです。3密を避ける工夫をしながら、行事を行いました。職員間で話し合いを行い、人と人との間隔をとる、1グループ4人の小グループで対面にならないように行う、密閉された場所では換気をしてマスクを着けることを徹底し、飛沫感染を予防しました。これらの対策をした上で、6月には玉ねぎ・じゃが芋掘り、7月には夏祭り、8月には水遊びを行いました。玉ねぎ・じゃが芋掘りは1グループずつ子どもと子どもの間隔を空けて収穫を楽しみ、「抜けたよ!」と声が飛び交いました。夏祭りは例年、保護者と一緒に楽しんでいましたが、今年は保護者が不参加の夏祭りになりました。お菓子釣り、輪投げ、クジの

コーナーで間隔を空けて行いました。ゲームを楽しみ、景品をもらおうと笑顔いっぱい遊ぶ子どもたちでした。プール遊びは中止です。水遊びは子どもたちが大好きな活動の1つなので実施しました。水鉄砲や魚釣り、色水遊びなど、各コーナーでソーシャルディスタンスを保ちながら楽しみ、「水が冷たくて気持ちいいね」と遊んでいました。秋冬と行事はまだあります。コロナ禍ですが子どもたちに楽しい行事を沢山経験させて成長を見守っていききたいと思っています。



しおかぜの里こども園
保育教諭 大崎 憲一





地域密着型介護老人福祉施設
アイユウの苑 しおはま
介護職員 高井 良司行
平成30年度入職

この仕事に就く前は福岡で洋服の販売員と飲食店で働いていました。共に接客業という事で再就職を探している際に知り合いから介護の仕事を勧められました。どうせ長く続かないだろうと始めは思っていたのですが、気づけば現在に至ります。ご利用者様と接するという点では接客業で得たコミュニケーション力が活かされているのではないかと思います。自分自身が一番驚いているのが長続きしない自分がよくここまで同じ仕事を続けられていると思うことです。それは間違いなく周りでサポートしてくれているみなさんのおかげだと思っています。いざとなればフォローしてくれるし、フォローする仲間同士のつながりがここにはあります。フォローしてくれたら「ありがとう」と相手に伝えることも関係を良好に保つ秘訣だと思います。それは職員間だけでなく、ご利用者様に対しても親切な対応を心掛けていれば必ず伝わります。自分の親切が「ありがとう」という言葉で自分の元に戻ってきた時の喜びは、何にも勝る最高なものです。



これからも「ありがとう」
って言葉をいただける
よう日々親切なケアを
心掛けていきたい
と思います。



アイユウの苑
デイサービスセンターしおはま
生活相談員 瓜生 一枝
平成12年度入職 介護福祉士

「笑顔は相手を笑顔にする」それが人とのコミュニケーション能力も求められるこの仕事に就いて、発見したことです。

デイサービスでは笑顔がコミュニケーションを図る上で大事な手段です。ですが、毎日業務に携わる中、相手に笑顔で接することが少ないように感じています。日々の業務の中で1日何回の笑顔を見せているでしょうか。いつも落ち着いた環境で、気持ちにゆとりがあるわけではありません。余裕がないと相手に表情から重い雰囲気が伝わり、不快な思いにさせてしまいます。しかしながら、楽しそうな姿や笑顔を見せると、相手も穏やかな気持ちになり、自然と表情も柔らかくなっているように感じます。

デイサービスでは、ご利用者様の笑顔を見ることも喜びの1つです。忙しい時、ゆとりがない時も、自分が笑顔でいることで、笑顔を引き出せるようになればと思います。

また、アイユウの苑では接遇を推進しています。笑顔はもちろん、おもてなしの心も身に着けていきたいと思っています。



松 | 美 | 会 | の | 人 | 財 私たちが 働いています!

◆ 今回のテーマは…

この仕事をやってみて
発見したこと。



アイユウの苑
ホームヘルプサービス
ヘルパー 松尾 清子
平成15年度入職 介護福祉士

この仕事に就き、早や17年目を迎えます。家事が好きという理由で始めました。長いことヘルパーをやっていると、いろいろな失敗もあります。ご利用者様の多くは毎日楽しく過ごされていますが、歳を取ることで自信を無くされたり、弱気になれる方も中にはおられ、老いることへの寂しさや切なさが伝わってくる場合があります。しかし、私たちがご利用者様の話を聴き共感したり、笑ったりすることで元気になる方がいるのを見ると、いかにこの仕事をする上で傾聴、共感が大切であるかを知りました。ご利用者様と接すると人柄、生き方も様々で自分はこのように歳を取りたいなと勉強させられます。働きながら貴重な人間浴をさせていただいています。また、自分自身が健康でないとできないこの仕事です。日々、仕事ができることに感謝し誇りをもっております。

私の好きな本に渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」という本があります。この本に書かれている言葉をいつも心に刻みこれからも日々励んでいきたいと思っています。



特別養護老人ホーム
アイユウの苑
介護職員 春木 和子
平成20年度入職 介護福祉士

私が介護職に就いて15年。当施設に入社して12年目になります。介護職は、ご利用者様の日常生活を支援する仕事です。特養は最期まで寄り添うターミナルケアを行います。

私が心掛けていることは「寄り添う心」を忘れず業務を行うことです。

初めて担当したご利用者様が失語症の方でした。正直、どのように信頼関係を築いていけば良いのか悩んでいました。ある日、その方は自分の声掛けに反応なく目も合わせてくれませんでした。「体調が悪いですか。」「何かあったのですか。」と問うも反応なく、介助が終わる時に「あ〜」と強い口調で今まで見たことのない辛い表情をされていました。私は胸が痛くなり、申し訳ない気持ちで一杯でした。すぐ「私の対応で嫌な思いをさせてすみません。」と、謝罪しました。当時の私は相手の立場を深く考えず、観察力が未熟でした。それからは、相手の表情を観察し寄り添えるようコミュニケーションを図り、徐々に信頼関係を築くことができ、笑顔が増え、話せる言葉も増えてご家族様にも喜んでいただくことができました。

この経験があったからこそ、観察力の大切さ、相手の心に寄り添うことの大切さを実感することができました。施設の方針「やさしさ・真心・思いやり」の精神と自慢の笑顔で、これからもご利用者様の心に寄り添う介護に精進してまいります。



自宅でできる 介護食のススメ (その5)

栄養管理・食事サービス部
管理栄養士 吉田明香里



今回は、あんかけ茶碗蒸しをご紹介します。茶碗蒸しはのど越しなめらかな料理の代表。飲み込む力が落ちている場合でも、具を入れず、銀あんをかけることで安心して召し上がることができます。
*だしの代わりにブイヨンや牛乳・豆乳を使っても一味変わった味わいになります。
*飲み込む力が弱い方への茶碗蒸しの具としては、「絹ごし豆腐」、「はんぺん」、「茹でたほうれん草の葉先を刻んだもの」などがお勧めです。

～茶碗蒸し～ (2人分)

卵1個・だし1カップ・塩小さじ1/5

Aだし1/3カップ・しょうゆ小さじ2/3・みりん小さじ2/3・塩少量

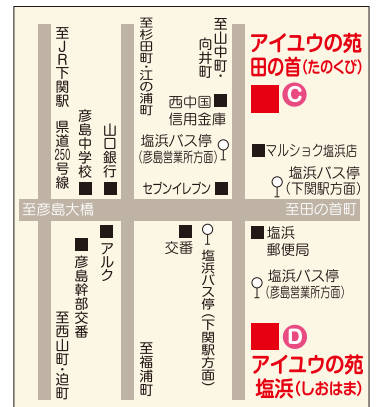
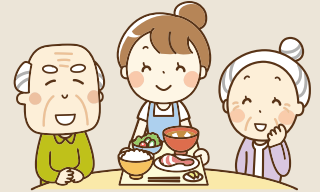
Bかたくり粉小さじ2/3・水小さじ1強

【作り方】

①卵は割りほぐし、だしを加えて混ぜ、ざるなどでこし、塩を加え、器に流し入れる。

②深めの鍋に水を3cmくらいまで入れて沸かし、①の器を入れ、ふたをして始め強めの火で1分、表面が白くなったら弱火で約10分蒸す。水滴が落ちないよう、蓋の内側にふきんをかけ、少しずらしてかけるとよい。(蒸し器で蒸す場合も火加減は同じ)

③小鍋にAを煮立て、Bでとろみをつける。この銀あんを好みの量かける。



社会福祉法人

しょう
松

び
美

かい
会

URL: <http://www.shoubikai.or.jp>
E-mail: fukushi@shoubikai.or.jp

◎アイユウの苑 迫(さこ)

〒750-0092 下関市彦島迫町三丁目17番2号

- 特別養護老人ホーム アイユウの苑(ショートステイ)
- アイユウの苑 デイサービスセンター
- アイユウの苑 サテライトデイサービスセンター六連島
- アイユウの苑 ホームヘルプサービス
- アイユウの苑 訪問入浴サービス
- アイユウの苑 訪問看護サービス
- アイユウの苑 ケアマネジメントセンター

Tel 083-266-8287
Tel 083-266-6364
Tel 083-266-6364
Tel 083-261-1372
Tel 083-266-6364
Tel 083-261-4337
Tel 083-266-6501

◎アイユウの苑 田の首(たのくび)

〒750-0085 下関市彦島田の首町一丁目1番32号

- アイユウの苑 グループホーム
- アイユウの苑 デイサービスセンターしおはま

Tel 083-266-5361
Tel 083-266-5362

◎アイユウの苑 塩浜(しおはま)

〒750-0086 下関市彦島塩浜町三丁目14番47号

- 地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑しおはま
- 小規模多機能型居宅介護 アイユウの苑しおはま
- 住宅型有料老人ホーム アイユウの苑しおはま

Tel 083-267-8800
Tel 083-267-2525
Tel 083-267-2525

◎アイユウの苑 ゆめタウン

〒752-0926 下関市長府ゆめタウン2番24号

- 地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑ゆめタウン
- アイユウの苑ゆめタウン ショートステイ

Tel 083-249-2200
Tel 083-249-2200

◎しおかぜの里

〒750-0092 下関市彦島迫町六丁目7番22号

- しおかぜの里こども園

Tel 083-267-1917



社会福祉法人 松美会 アイユウの苑は「社会福祉法人」「特別養護老人ホーム」「在宅介護サービスの複合供給体」として、日本で初めて1999年10月に品質マネジメントシステムISO9001の認証(審査登録)取得を実現しました。その後、システムの維持・継続的改善をしながら認証取得事業所の拡大を推進しています。

【ISO9001認証(審査登録)取得】